

会員参加のご依頼

「IT連携フォーラム OACIS」の設立について

大阪大学では、情報科学技術に関する強い社会的要請、今後の発展に応えるため、本年4月1日に情報科学研究科を開設いたしました。

新研究科およびサイバーメディアセンターでは、コア分野であるIT技術、バイオ技術を主要テーマとして、中小、ベンチャーから大企業に至る幅広い産学連携を積極的に推進していくことにより、日本の経済活性化に貢献していきたいと考えています。

この産学連携を推進するため、「IT連携フォーラムOACIS (オアシス)」を設立いたします。OACISの設立趣意をご理解いただくとともに、フォーラム活動にご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

OACIS: Osaka Advanced Research Collaboration Forum for Information Science & Technology

IT連携フォーラムOACIS参加による企業メリット

大阪大学 情報科学研究科のコア分野であるIT技術、バイオ技術を主要テーマとして、幅広い産学連携を推進することにより、参加企業においては以下に示すメリット(価値)があるものと考えます。加えて、この産学連携推進を通じ、関西および日本の経済活性化に寄与できるものと確信しております。

1. 大学での最先端技術をもとに、参加メンバー間での各種交流・情報共有を通じた新たなビジネスチャンスの発掘

(1) 最新の技術動向、研究動向の収集及び情報交換

- ・研究成果を活用した製品開発、新ビジネス創造への橋渡し
- ・各種研究・技術課題の早期解決(情報科学分野の駆け込み寺としてサポート)

(2) 情報科学分野を牽引する中核人材相互の人脈形成・人材交流

- ・インターンシップ制度を利用した企業・大学の人材交流、人材雇用の活性化
- ・各種交流活動を通じたメンバー相互のスキルアップ、創造能力の活性化
- ・従来の枠組みを超えた新たな情報科学応用ビジネスの創出

2. 大阪大学の豊富なナレッジ、リソースをトリガとしたビジネスの早期立上げ

(1) 高度な専門家集団を活用した研究開発のスピードアップ

- ・参加企業が求める様々な専門分野、情報等に対し、大学内の人的・組織的ネットワークをフルに活用し、最適かつ即戦力となりうる研究者をワンストップで紹介

(2) 大学の研究施設を活用した効率的な研究開発

- ・大学の研究施設を活用した試験研究の早期実現、効率的な研究開発の実現による企業競争力のアップ
- ・中立かつ公平な立場での各種技術検証・実験等を通じた技術サポートの充実(インターオペラビリティ検証等)

(3) 公的・先端的研究プロジェクト等への参画によるビジネスチャンスの拡大

- ・大阪大学と参加企業による公的・先端的研究プロジェクトの立案、実行を通じた新たなビジネスの協創
- ・新製品、新技術に関する検証の場としての活用

フォーラムの主な活動内容(案)

現時点で想定しているフォーラムの活動内容は以下のとおりですが、フォーラムメンバを中心に、個々のテーマについて具現化を図っていきたいと考えています。

当面の活動内容(案)

全体活動

- シンポジウム等を通じた技術交流、人脈形成
 - ・シンポジウム(年5回程度)、技術座談会
 - ・学生を対象とした特別講義 等
- 人材交流のアレンジ
 - ・インターンシップ制度による企業の学生受け入れ
 - ・企業研究者の大学受け入れ(学位取得等)

ワーキンググループ活動

- 共同研究、技術検証の検討
 - ・IT、バイオを主要テーマとした共同研究テーマの検討
 - ・各種ベンダ機器、ネットワークサービス等とのインターオペラビリティ検証テーマの検討
- 公的。先端的な研究プロジェクトの企画検討
 - ・大阪大学と参加企業によるプロジェクトの企画立案
- 情報流通ネットワークを利用した実験、検証のテーマ検討
 - ・高速広帯域次世代共同実験用ネットワークの構築検討
 - ・ネットワーク上での実験、検証テーマの検討

等

個々のテーマの具現化

○共同研究、技術検証の個別実施

- ・IT、バイオ関連の共同研究
- ・インターオペラビリティ検証

○公的・先端的な研究プロジェクトの誘致

- ・公的研究予算による大規模プロジェクト

○次世代実験ネットワークの構築・実験

- ・次世代高速広帯域ネットワークを用いた新製品、新技術の検証

等

活動成果のフィードバック

関西および日本の経済活性化に貢献

- ニュービジネスのインキュベーション
- 地域経済活性化に向けた各種提言(地域活性化戦略)
- 大学・企業間の人材交流の活性化

注:・本フォーラムは、情報交換、人材交流等を通じオープンな位置付けをしたいと考えていますが、個々のワーキング実施にあたり知的財産の保護が必要となった場合には、参加メンバ間での守秘契約等、個々のワーキング単位で規約化する方向で考えています。

IT連携フォーラムOACISの運営体制案

フォーラムの運営体制については、以下のとおり考えておりますが、趣旨にご賛同いただける企業等から各種ご意見・アドバイスをいただくことにより、フォーラムの活動を充実させたいと考えています。

1. 運営形態

- ・非営利の任意団体として、会費制による運用とします。
- ・メンバ参加は年会費制(実行委員、フォーラムメンバに関わらず、一口12万円で各社一口以上を予定)とします。
これによりより全体活動への参加が可能になります。
- ・個々のワーキンググループへ参加については、別途参加費用が必要な場合があります。

2. チェアマン(座長)

大阪大学 情報科学研究科長とし、本フォーラムの全体推進、意志決定を行います。

3. ステアリング・コミッティー(実行委員会)

- ・実行委員は大学関係者、各企業の室部長(もしくは担当部長)クラスとし、全体で最大10名程度とします。
- ・実行委員メンバについては定期的に改選します。

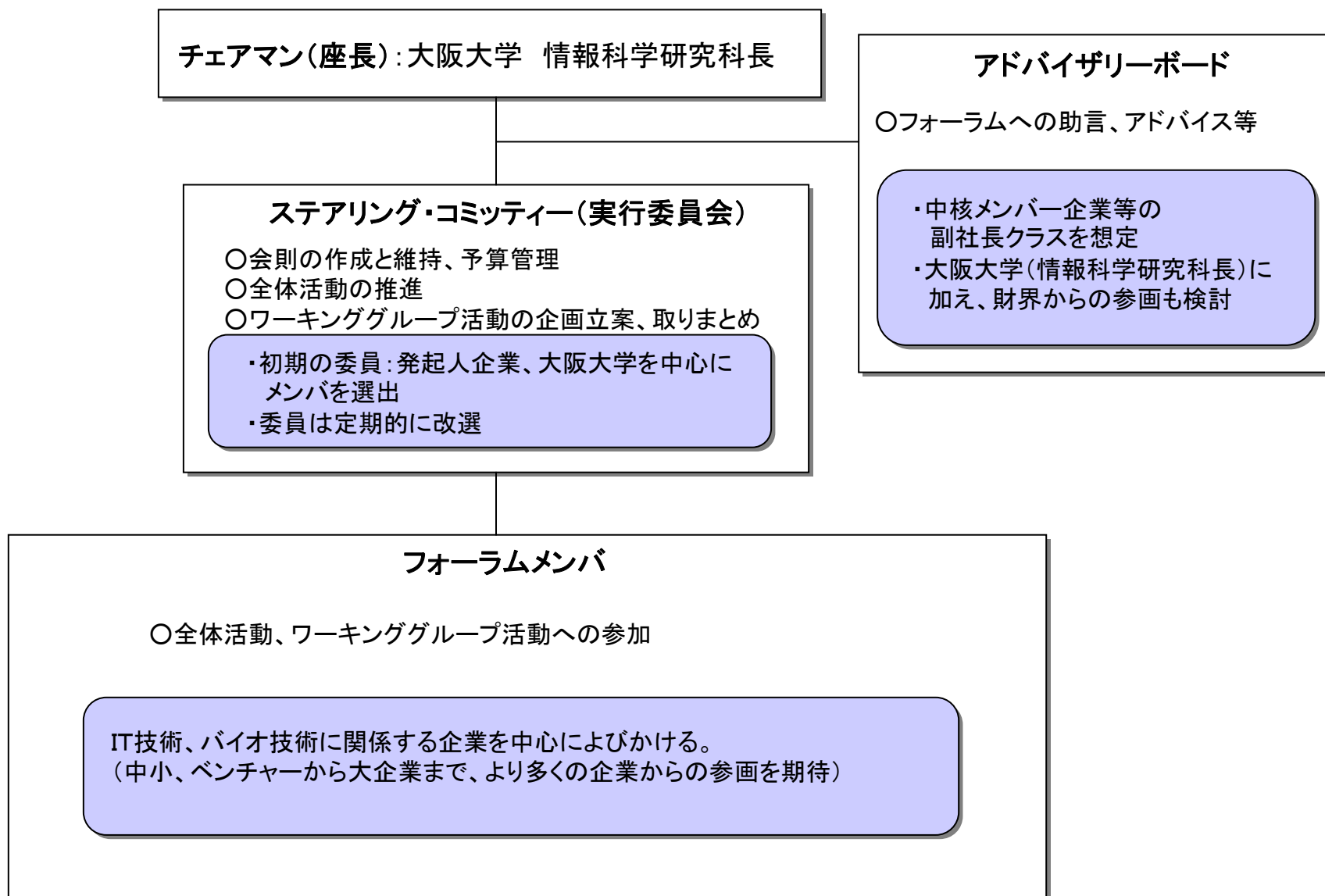
4. アドバイザリーボード

- ・本フォーラムの活動内容に対する各種助言、アドバイス等を頂きます。概ね半期単位でボードミーティングを開催します。
- ・ボードメンバは中核メンバー企業等の副社長クラスにお願いしたいと考えています。

5. フォーラムメンバ

- ・本フォーラムは、情報交換、人材交流等を通じオープンな位置付けとしたいと考えていますが、個々のワーキング実施にあたり知的財産および機密情報の保護が必要となった場合には個別対処する方向で考えています。

IT連携フォーラムOACISの運営体制イメージ



○ 関連Eメールアドレス

・事務局メールアドレス: secretariat@oacis.jp

○ 関連ホームページ

・IT連携フォーラム OACIS ホームページ:

<http://www.oacis.jp/>

・大阪大学大学院情報科学研究科研究科の紹介:

<http://www.oacis.jp/pdf/ist-intro.pdf>

・大阪大学大学院情報科学研究科研究科ホームページ:

<http://www.ist.osaka-u.ac.jp/>

○ 設立準備会代表

大阪大学大学院情報科学研究科

情報ネットワーク学専攻

今瀬 真

〒560-8531 豊中市待兼山1-3

電話:06-6850-6610 携帯:090-7708-2501

Eメール: imase@ist.osaka-u.ac.jp